

## ＋救急医療

- ①救急医療センター・小児初期救急医療センター…  
☎(226) 3399
  - ②歯科救急センター…☎(220) 1199
  - ③山梨県精神科救急受診相談センター…  
☎0551(20) 1125
  - ④山梨県小児救急電話相談…  
(短縮ダイヤル)☎# 8000  
または☎(226) 3369
- ①②→受診の前に症状をお伺いします。まずは電話でお問い合わせください。

広報こうふ3月号26ページの「おしえてドクター」に掲載した救急医療の夜間電話相談(☎8000)は夜間休日の小児(中学生まで)の急病やケガに関する相談を受ける窓口です。救急センターとは別に運営されており、補足してお詫び申し上げます。救急医療の連絡先については左記をご覧ください。



### 救急医療体制を守るために

高齢者人口の増加、在宅診療・在宅ケアの推進の結果、救急搬送件数は毎年増加しています。一方で救急体制の継続困難な病院がでてきています。このままでは疲弊から体制崩壊や医療事故という事態になりかねません。救急医療体制を守るために市民の皆さんにもご協力をお願いします。

#### ＜市立甲府病院は2次救急を中心としています＞

病院としての使命は入院や手術が必要な重症患者(2次救急患者)の対応にあると考えています。軽症の方は重症患者や病棟対応のため待ち時間が長くなることがありますので承知ください。

#### ＜まずは電話でお問い合わせください＞

突然のケガや病気など、受診の相談は甲府市医師会救急医療センター(☎(226) 3399)もしくは夜間相談窓口(☎8000)をご利用ください。また、受診の前に必ず電話連絡をください。連絡いただくことで緊急性などを判断して対応することができます。疾患によっては本人が思っている以上に深刻な状態で救急車を利用した方がよいというアドバイスもできます。逆にお子さんの発熱など、緊急性のないものについては家庭でできる対処法などを電話で指導し、具合の悪い方を連れ回すことを避けることができます。

#### ＜受診時には『お薬手帳』をお持ちください＞

緊急受診の際には当院通院中の方でも別の診療科の医師が対応することになります。病歴や投薬歴をお聞きしますが、良く覚えていない方が大半です。薬には相互作用やアレルギーがあります。正しい治療を受けるためにも病歴や投薬歴がわかる資料(お薬手帳が最適です)をお持ちください。

#### 市立甲府病院救急科 前田 宜包 医師



- ・昭和61年山梨医科大学卒業
- ・慈恵医科大学柏病院救急診療部、山梨大学病院救急部、富士吉田市立病院を経て、平成26年4月から当院勤務
- ・現在当院救急科部長

問市立甲府病院…☎(244) 1111



## とびだせ！市民レポーター！ マンガ「甲府 Sparkling 誕生物語」

～漫画家イセダマミコさんをインタビュー～

### 心で感じるマンガ

開府500年を記念して発売された「甲府 Sparkling」。このスパークリングワインの開発から完成までの物語を漫画家・イセダマミコさんが描き下ろしました。イセダさんご本人が愛らしいキャラクターの主人公となり物語が展開されます。樋口市長をはじめとする登場人物はすべて実在する方。甲州弁も親しみやすく描かれています。イセダさんは執筆するにあたり、山梨大学ワイン科学研究センターと(株)サダヤ、J A 甲府市を取材。研究・開発と醸造の現場を実際に見て、お話を聞き感じたことで、マンガがより一層リアリティー溢れるものとなりました。



山梨大学ワイン科学研究センター・柳田藤寿教授を取材

（株）サダヤ顧問萩原健一さんを取材



イセダさんは、「感動と

いう文字は感じて動くを書く。このスパークリングワインの背景にある物語を伝えることで、作り手の思いを感じてもらい、多くの人に飲んでもらいたい」とおっしゃっていました。

### 郷土に誇りと自信を

長年暮らした東京から山梨に移住をしたイセダさんは、「山梨はとても魅力的な場所。自分の住んでいる街をもっと知って、大好きになってほしい」と言います。執筆活動の傍ら、甲府市中心部にある県産ワインなどを提供する飲食店で働いています。「甲府市は、空き家や空き店舗の問題もよく言われていますが、発想を変えれば有効に使える場所や若者が活躍できる場がたくさんあるということ。甲府市は魅力的で可能性のある街」と目を輝かせていたのが印象的でした。



マンガはコチラ▲

### イセダマミコさんプロフィール



愛媛県生まれ。1984年漫画家デビュー。ワインに魅了され2013年山梨県笛吹市へ移住。マンガ以外にも講演・セミナーなどでワインの楽しさを語るなど、幅広く活躍中。

### ◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆

たくさんの方の想いが詰まった「甲府 Sparkling 誕生物語」をぜひ一読ください。知らなかった甲府市が発見できるかもしれません。これからのシーズン、紅白のスパークリングワインは、お祝いやお花見のシーンにぴったり。みんな乾杯しませんか？



今月の担当レポーター／佐野いずみ